

# 小田原市スポーツ施設整備基本計画策定検討委員会 第6回会議 議事録

開催日時	令和6年12月23日 10:00～11:15
内 容	第6回会議：小田原市スポーツ施設整備基本計画（案）について
場 所	小田原アリーナ 1階 大会議室
参 加 者	<p>【委員】柳澤 要氏（委員長、千葉大学大学院工学研究科教授・オンライン参加） 川邊保孝氏（副委員長、東海大学スポーツプロモーションセンター准教授） 宮内宏人氏（小田原市自治会総連合） 片山 勝氏（小田原市老人クラブ連合会） 野田ひろみ氏（小田原市スポーツ推進審議会） 安藤 恵氏（小田原市体育協会） 曾我卓正氏（小田原市PTA連絡協議会） 菊亜由美氏（公募市民） 木村 蒼氏（公募市民） 欠席：水谷尚人氏（湘南ベルマーレ前社長）</p> <p>【オブザーバー】重田健太郎氏（県西地域県政総合センター企画調整部長）</p> <p>【事務局】小田原市 小澤スポーツまちづくり担当部長、 スポーツ課 穂谷野スポーツ課長、管理係 菊池係長（司会） 室橋主査、高橋主任 （株）パブリック・マネジメント・コンサルティング 川島慶之、高山正行、清沢ゆうみ</p>
	<p>【司会】</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から、小田原市スポーツ施設整備基本計画策定検討委員会第6回会議を開会させていただきます。</p> <p>私は、司会を務めさせていただきます、小田原市スポーツ課管理係の菊池でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、本会議は「小田原市スポーツ施設整備基本計画策定検討委員会規則」の規定に基づき、委員の2分の1以上の御出席をいただきましたので、会議が成立することを報告させていただきます。</p> <p>また、議事録等の作成の関係で、本会議を録音させていただきますので併せて御承知ください。本日は、柳澤委員長につきましては、オンラインでの参加になります。</p> <p>水谷委員につきましては、都合により欠席されるとの御連絡をいただいております。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、小澤スポーツまちづくり担当部長から挨拶いたします。</p> <p>【小澤部長（事務局）】</p> <p>皆さんおはようございます。今日も一段と寒い中、また忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。インフルエンザもだいぶ流行っているということで、マスクをされている方も多くて、自己管理を徹底されていて素晴らしいと思っています。この委員会も今日が最終回ということで、第6回目の会議になります。締めの日ということになりました。</p>

少し前の話ですが、11月には小田原市の最大のスポーツイベント、ツーデーマーチが行われまして、参加者が3400人ぐらいで、2日間で延べ人数で言うと4700人ぐらいとなっていて、昨年より約500人増えています。それは、国内でもこのツーデーマーチは3本指に入るぐらいに大きなイベントと言われていまして、そこまで成長してきています。コロナ禍を過ぎて参加人数もだいぶ減ったのですが、それでも色々な工夫をしながら人数をそこまで減らさないでできている。他の団体さんがやっているツーデーマーチみたいなものとかスリーデーマーチとかは、かなり人数が減っていると聞いています。その中でも何とかやれているのはありがたいことかなと思います。現在は、参加者の方や従事された方々から色々な意見いただいたり、改善点等も集めていますので、それらを含めて我々の方で今、来年以降またどういった形でできれば良いのか、さらに良くするための準備を進めています。このように、イベントも毎回同じことを繰り返せば良いわけではなくて、参加者の方々、もしくはより良い運営方法は何かを常に考えながら変えていかないとけないのはあります。

同じように施設管理で今日お集まりいただいて、ずっとやってきたこの委員会についても、どういう形で施設を維持していくのか、もしくは新しい施設はどういうものが良いのかを常に考えながらやっていくのが大切なのかなと思っています。

さて今回の委員会は最終回ということで、冊子形式で前回の第5回の会議から計画書のイメージでお示しをしています。ですから今回については、前回の若干の修正版という形で出ています。今日はどこがどのように変わったかを中心に皆さんにお伝えして、その後で皆さんからいろんなご意見をいただきたいと思っています。いつも通りですが、本日もまた皆さんからいろんな意見をいただいて、計画に反映できるものはしていきたいと思っていますので、ぜひよろしく願いいたします。

#### 【司会】

それでは、これより議事に入りたいと思います。本来は委員長に議長として議事の進行をしていただくところですが、本日は委員長がオンラインでの参加になりますので、委員長からの指名ということで、副委員長に議事の進行をお願いしたいと思います。

#### 【川邊副委員長】

それでは、以後の議事進行につきましては、私が務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、事務局から本日の資料の確認をお願いいたします。

#### 【事務局】

それでは、本日の会議の資料を確認させていただきます。まず、皆様に事前にご送付させていただいております本日の次第、それから、卓上配布させていただいております資料1として、小田市スポーツ施設整備基本計画(案)です。こちらにつきましては、事前にお配りさせていただいているものから第7章を中心に修正させていただいております。本日、卓上配布のものでご参照いただければと思います。詳細は後ほどご説明させていただきます。それから、卓上配布させていただいております本日のアンケートです。以上になりますが、過不足等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、副委員長お願いします。

### 【川邊副委員長】

それでは、本日の次第に沿って議事を進行いたします。

次第2・議事(1)小田原市スポーツ施設整備基本計画(案)について、事務局から説明願います。

### 【事務局】

それでは、議題の(1)小田原市スポーツ施設整備基本計画(案)について説明します。

資料1をご覧ください。

今回、第6回は本委員会としても最後の会議となりますので、前回、第5回の会議で委員の皆様からいただいたご意見、ご指摘を内部で検討し、計画へ反映させる部分は反映させるとともに、改めて内容を精査し、そのうえで、最終的な形式となるよう、本編に計画書のメイン事項を記載し、新たに資料編として詳細なデータや委員会概要等を加えた構成としてお示しすることとしました。

本編は60ページまでで、以降が資料編となっています。

それでは、前回、第5回でお示した資料から修正した点を中心に説明します。

まず、4ページの第3章「市有スポーツ施設の現状」ですが、次ページ以降の各施設の基本情報に記載のある「劣化度」について、各施設の状況把握調査を行っていることを注釈として追記しました。

5ページからの基本情報では、利用者数の推移を平成30年度からの5年間とし、表からグラフへ変更しました。

19ページの「3-2施設の利用状況」では、施設ごとの競技別利用者数のグラフを資料編の14ページ以降に移動しました。

20ページの「3-3施設の収支状況」では、施設ごとの収入と支出を一つのグラフにまとめて表示しました。

21ページからの第4章「市有スポーツ施設を取り巻く環境」ですが、22ページの近隣自治体の公共スポーツ施設を地図では地域別に、一覧ではスポーツ施設の種類ごとに分類しました。

34ページからの第5章「スポーツ施設の課題」ですが、施設の課題整理について、「スポーツ施設に直接関わる課題」と「スポーツ施設を取り巻く課題」を分け、それぞれ項目立てしました。

また、35ページの「5-3利用特性に基づく分類」は、記載するページを変更しました。

39ページからの第7章「スポーツ施設の評価と方向性」ですが、これまで安全性・機能性と経済性の評価結果からの判定方法をスポーツ庁が定めた「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」にある「個別施設の検討の方向性のフロー」に準じたものに変更しました。結果として41ページの図表27市有スポーツ施設の現況評価の結果と整備方針のとおりとなります。

整備方針の結果は前回と変わりありませんが、図表26の7-1に基づく各評価基準に則り、耐震性を含めた安全性・機能が全て「○」の施設は評価を「良」、いずれかでも「×」がある施設は「劣」としました。

また、図表22の個別施設の検討の方向性のフローにより、安全性・機能が「劣」となった施設についてのみ経済性を評価し、「×」が付いた施設は「劣」と評価しました。これらの評価結果に、将来的な新規施設整備による影響を考慮した結果、安全性・機能性に問題がない施設を「長寿命化」としています。

また、安全性・機能性に問題があっても経済性に問題はない施設を「機能改修」としています。そして、安全性・機能性、経済性のいずれも問題のある施設を「機能移転」としています。ただし、城内弓道場については、史跡内立地による制約があり、将来的な新規施設への移転再整備を想定することから、当面は現状施設を維持改修するため「機能改修」と整理することとしました。いずれにしても、整備方針については、すべての施設で前回と変更はしていません。

48ページからの第8章「スポーツ施設の事業計画」では、個別事業計画をスケジュール表と文章で記載することとし、個別事業計画の優先度に関する資料は資料編の20ページ以降へ移動しました。なお、前回会議でご説明したとおり、本事業計画に記載したスケジュールは、資料編の20ページから22ページに記載した根拠により短期、中期、長期に優先順位付けして作成しています。

50ページ以降の個別事業計画については、スケジュールに合わせて各施設の方向性、短期、中期に記載する字句の修正を行いました。

特に機能移転とする「小峰庭球場」、「御幸の浜プール」、「酒匂川左岸サイクリング場」については、施設の方向性を中心に、条件付きで統合や廃止を含めた機能移転としていくことを明記しました。

55ページ以降の「8-2 新たなスポーツ施設に関するモデルプラン」については、基本的な方向性は変わりませんが、56ページ及び57ページの整備スケジュールについて、現地詳細調査や周辺地域説明、運営手法の検討を同時に進めていくなどの修正を行いました。いずれも現在の指定管理者の更新となる時期に合わせて令和11年度を見込んでいますが、課題解決状況や財政状況によって変更される可能性があります。

巻末の資料編には、これまで説明した資料に加えて、用語集、各施設の劣化状況調査の結果、本委員会の規則、委員一覧、開催概要などを記載いたしました。

資料の説明は以上となります。

#### 【川邊副委員長】

ご説明ありがとうございました。それでは、ご意見がある方は挙手の上ご意見をよろしく願います。今回の会議、最終回となりますので、今ご説明いただいたところは変更点でしたけれども、変更点以外に限らずお気づきの点があれば積極的にご発言いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

では、お考えいただく間に私から少し口火を切ろうかと思えます。48ページ、事業計画（表）についてです。今回の計画の対象施設が、2ページに1～18で載っています。18の小田原スポーツ会館は市の施設ではないということですが、対象施設として明記している以上は、こちらの実施計画に入れないと整合性が取れないと思います。それを入れるか、対象施設から外すかしないといけないと思います。検討もされていますし、ぜひ実施計画に入れていただければと思いますが、いかがでしょうか。

#### 【事務局】

ありがとうございます。スポーツ会館は市の施設ではないですが、公共的な使われ方をしていること、それから柔道や剣道は、かなり昔ですが武道場というのがありまして、その武道場がなくなることによって新たな武道場を作るときに、スポーツ会館がたまたまスポーツ会館という名前前のできた。本来なら武道場として整備すべきものですが、様々な理由がありまして、あらゆる

スポーツができる体育館を付けたスポーツ会館ということでできました。ですので、武道を中心に始まったところはあるのですが、体育館として、当時まだ小田原アリーナはありませんから、そこしかなかった時代があったわけです。そういう中でずっと運営されてきた。我々ではなくて、小田原市事業協会が運営してくれています。そういった経緯もある中で、小田原市としてもスポーツ会館を公共的な建物と見ていかないと、今までの使われ方自体がそうだったのでまずいのではないかということで、この位置づけの中に準公共施設として入れさせていただきました。

スケジュール感で入れられなかったのは、スポーツ会館を運営するのは事業協会なので、市役所の中の違う組織でしたらいろんな調整ができるのですが、なかなかこうあるべきとか、こうすべきとか、市の施設的にこちらから言うことがなかなかできない。検討委員会でいくら検討したとしても、事業協会にそれを押し付けることがなかなかできないということで、スケジュールからは外させていただきました。この辺りについて皆さんのご意見、副委員長から今そういったご意見をいただいたので、他の方々からもご意見をいただいて、やはり入れた方が良いというのが大半であれば、我々としてもスケジュール感をどのように入れていけば良いのか、今日最終回ですけれども、この後で一任させていただければ、例えば副委員長や委員長などと相談しながらスケジュールをどうするかを検討していきたいと思います。いかがでしょうか。

**【川邊副委員長】**

いかがでしょうか。小田原市スポーツ会館について、整備計画の個別事業計画8-1の各施設の主たる事業の中に入れるか入れないかという話です。

宮内委員、どうぞ。

**【宮内委員】**

これはたまたま今スポーツ会館が話題になっているので、一番最初に私が話した通り、球場とか上府中スポーツ公園はみどり公園課が管理しています。それからスポーツ施設という観点で見れば、行政がどう管理するかは関係なく施設として見るべきであって、その施設を検討する委員会であれば、この委員会の中で対象とした方がスッキリすると思います。ですから、2ページに書いてある18の施設は、この委員会の対象施設と考えた方が市民にとってもわかりやすいと思います。どこまで踏み込むかは別として、対象とした方が良いでしょう。

**【川邊副委員長】**

その他の委員の皆様、いかがでしょうか。ではご意見がありましたので、書き方についてはまた検討させていただくということで、委員長、副委員長と事務局でまた調整することにします。

54ページに記載はありますし、その旨を個別の事業計画の中に、48・49のグラフ図の中に入れていくという形でよろしいでしょうか。では、そのように調整していきたいと思います。よろしくお願いたします。

その他、ご意見ございましたらいかがでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。

**【宮内委員】**

2点ほど、39ページの評価のところ、今回は安全性と経済性が一緒になっていてわかりづらかったのは、今回こういう形で。ただ、これは穿った見方かもしれませんが、安全性、機能が先

で、その後に経済性が出てくるのは、別に決め事だから良いけれども、安全性が良ければ次の段階で経済性はいらないのでしょうか。つまり、安全ならば採算は良いのかという話になってしまうと思います。これはこれで構いませんけれど、そういう観点が1つ必要な気がしないでもないです。それが1点目です。

それから資料編の15～16ページに、実施された競技の使用人数があります。大体トップ5がテニスからサッカーがあつて、その下は令和4年度からはダンスから以下、5年度がバドミントン以下、いわゆる利用者数が少ない競技と多い競技がかなりハッキリしています。こういうときに、スポーツ施設として利用者が多い競技に主眼を置くのか、少ないところに主眼を置くのか、非常に難しい問題が出てきます。新しいスポーツが出てきたけれどどうしましょうという話だとか、この辺の力の入れ具合が変わってくる可能性があるんで、そこもある程度、方向性としてどういう書き方が良いかわかりませんが、書き込んだ方が良い気がしないでもないです。以上2点、ちょっと思ったことです。

#### 【川邊副委員長】

ありがとうございます。それでは事務局から、まずは39ページの現況評価についてご回答いただければと思います。

#### 【事務局】

ありがとうございます。それぞれ2つとも悩ましいご指摘だと思います。まず公共スポーツ施設というものが、どういうものかというのがあります。なかなか使用料についても、減免とか、お金取れるところからお金を取れなかったりすることが結構ありまして、公共スポーツ、公共大会などについては使用料が取れないという実情があります。

ですので、民間スポーツ施設と大きく違うところは、例えば20ページに収支のグラフを今回出させていただいたのですが、これを見ると、今までバラバラだったものがひとつになって、ある意味がわかりやすくなったと思います。例えば令和元年の状況を見ると、収入が7700万円くらいに対して、支出が5億円くらいです。濃いオレンジ色の帯は、例えば令和元年度だと酒匂川が冠水して直すために相当なお金がかかったり、あと他の年代でもテニスガーデンの芝の張替えを一気にやったり、アリーナの屋根を改修したり、ものすごいお金がかかるのです。そういうところが出てしまうと、どうしても経常的な収支とは違って政策的なお金というか、特別にかかってしまうお金が出てきます。ですので、収支バランスで収入を良くする、要するに黒字にするのはなかなか公共施設では難しいです。

先ほどテニスは利用人数が多いという話もありました。テニスガーデンだけは、かなり収益的には良い施設になっています。ただそれ以外の施設については、ほとんど赤字になっているのが実情だと思います。あと無料施設などは、お金が取れていないので経費しかかかっていないというところもあります。冒頭、悩ましいご指摘ですと申し上げたのは、そういった実情です。

ただ、それでも収益についてどう考えるかということで、使用料の見直し、もしくは駐車場をこれからどう考えるのか。無料だけではなくて、有料にしなければいけないのか。あとネーミングライツ的なものをしてながらお金を得られるかどうかとか、そういった取り組みもこの計画の中に入れていただきました。微々たるものかもしれませんが、そういったものを積み上げていかないとそのまま放っておいてはまずいところがあります。

私が1番最初に話した通り、今までのものをそのまま流していれば良いということではなくて、常に新しく時代に合うように改善を続けなければならないと思っています。ただ、公共スポーツ施設としての非常に難しい部分がありますので、その中でもやれることを常に考えて行動していくことが我々に課されているのかなと思います。

2つ目の質問のテニスとかサッカー、使われているところを中心に何か方向性を出した方が良いのではないかということについても、実は市民がいろんなスポーツに触れてほしいというのがあります。結果としてテニスとサッカーがよく使われているのですが、そこだけに焦点を合わせるのも良くないと思います。ただ、多く使えば使うほど施設も劣化する場合がありますので、そういった対応はしっかりしていかなければならないと思います。

**【川邊副委員長】**

いかがでしょうか。

**【宮内委員】**

悩ましい部分で、右か左とはっきり言えない部分だと思います。なかなかご苦労されているとわかります。

先ほど20ページの採算のところ、例えば酒匂川が冠水した云々というのがありました。逆に一般企業で言う特別損失的な話で、そういうシステムを別枠にしておいて、通常の収入と通常の運営経費という見方をして、この年はこれがあつたからこれだけ費用がかかりましたという見方をした方が、収支を見る意味ではわかりやすいのかなと思っています。その辺は書き方ですが、そういう考えもあると思います。

それから、いろんなスポーツをしてほしいというお気持ちはわかります。民間企業で手が出せない部分を官がやらなければいけないのは、よくわかります。ですから、そこら辺で考え方や方向を言っておいた方が利用者側も利用しやすい気がします。それは色々悩ましい部分があるので何とも言えませんが、一応そんな感想です。よろしくお願いします。

**【川邊副委員長】**

ありがとうございました。それでは、本件はその2件でよろしいでしょうか。

関連して良いですか。41ページの図表27、先ほどのフローで言うと安全性、機能性で「劣」が付けば経済性で評価する、「良」が付けば評価は無しで長寿命化とするのは、この流れで構わないということになりますか。何かそれについて検討はするのかどうかだと思いますが、よろしいですか。

この件に関連して、例えば「劣」が付いて、収支状況で横棒(－)になっているのは、片方利用者数が「○」になっていればそれで良いということが付いているという認識ですか。確認させていただけますか。酒匂川サイクリングコースとかです。「○・○」とか「○・×」ではなくて、「○・－」となっている理由は何ですか。

**【事務局】**

図表27の経済性収支状況の横棒(－)となっている鴨宮運動広場、9～11番につきましては、一応これは無料施設ですので収支状況はないです。入りがないので、評価がしづらいので横棒(－)で

スルーするようにしました。

**【川邊副委員長】**

承知しました。わかりました。ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。お気づきの点は。木村委員、よろしくお願いいたします。

**【木村委員】**

同じく図表27のところです。安全性、耐震性、機能性の○×のところで、例えば小田原アリーナの機能性の「○」の部分で、評価基準が40ページの図表26にあると思うんですけども、どの施設にも問題点は絶対にあると思います。

例えば小田原アリーナでも、空調の問題とか雨漏りの問題がある中で、機能性も「○」になっているので、問題点のある程度の一定のレベルを達したら「○」になっているのか、それとも「×」になっているのか、評価基準をもう一度お聞きしたいと思います。

**【川邊副委員長】**

事務局、よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

ありがとうございます。今木村委員から安全性、図表27について、特にアリーナの機能性のところを中心にご指摘がありました。

アリーナの機能性については、40ページの図表26にいろいろ書いてあります。さらに図表23の機能性としては、実施が想定されている競技利用にあたり制限が生じているレベルの場合に「劣」としております。アリーナについては、アリーナの中の部分、それからサブアリーナについても、確かに雨が降ったときに一部、廊下とか出てきますけれども、中について特にアリーナ、メインアリーナとかには大きな支障は出ていません。そういった意味で、屋根についても雨漏りが昔ひどかったものは対策をして直しています。

ですので、そういう状況から見てアリーナについては他の施設に比べれば機能性は悪くないということで、「劣」ではないので「良」だから「○」とさせていただいています。

**【川邊副委員長】**

木村委員、よろしいでしょうか。関連して、これも図表27について、安全性に横棒(－)が付いている理由は、12～14番についてもご説明いただけますか。

**【事務局】**

図表27の安全性の欄に横棒(－)となっている12～14番です。1～11番まではスポーツ課が所管する施設でありましたので、現地で調査を行いました。12～14番については、他部署の施設だったものですから、実際そこまでの詳細調査ができていなかったのが横棒(－)としています。

**【川邊副委員長】**

承知しました。その他、いかがでしょうか。ぜひともご発言いただければと思います。最終回



ですし、今回ご説明いただかなかったところでももちろん構いません。今後、見直しはあるにして、今後の長期的な点も含めてご指摘いただければと思います。いかがですか。最後にまた1人ずつ最終的なご意見、ご感想を頂こうと思いますので、そこでも構いません。

では、せっかくですのもう1点、私から。今後の長期的な展望にも含まれてきますので、変更点以外にも重要な点はあると思います。37～38ページの実施方針です。それが今後の整備方針の基本ですので重要だと思います。例えば34ページの課題で、図表17の中に熱中症対策があります。運動する方の安全安心とか、そういったところでも重要な課題が出てくると思います。スポーツ圏においても、スポーツする人の安全性は非常に重要なポイントになってくると思います。何かこの安全性を担保するのは当然故に、実施方針の中に利用者の安全みたいなことが入っていない気がしました。どこかに1文でも入れておいていただきたいと思ったところですよ。いかがでしょうか。事務局、安全とかに対する実施方針は含まれていないですよ。

#### 【事務局】

ありがとうございます。安全性という言葉は、確かに入っていないです。

ただ適切に管理をしていく、維持管理や改修を適切に実施というのは、実施方針1の3行目のところにあります。「維持管理や改修を適切に実施し、施設の長寿命化を図る」。これもある意味、安全性を高めるためにやる行動です。

併せて、実施方針2の中でも先ほど熱中症対策もあるので、想定される主な事業としては、2つ目のポチの2行目に「空調などの機能向上」は入っております。

さらに実施方針の本文3行目にも、「快適に利用できるよう機能を向上させていきます」とあります。確かに、今よりもさらに良くみたいな感じのイメージが強くて、どうしても今までのものをしっかりと直していくという意味での「安全性」という言葉があった方が良いかもしれません。この辺り、言葉ができてしまっているのでどこにはめ込めば良いのかは考えてやってみたいと思います。いかがでしょうか。

#### 【川邊副委員長】

私は質問した立場ですので、皆さんいかがですか。ぜひ入れていただいた方が、今後、様々なスポーツにおける事故防止とか、これからSDGs脱炭素といった環境問題への対応において、暑さの問題は必ず出てくる問題だと思います。入れ込み方はご相談させていただくとして、入れるというのはいかがでしょうか。

では、片山委員お願いします。

#### 【片山委員】

それは確かに入れた方が良くと思います。今まで5年を遡って、そういう安全性に対して、例えば事故があった、熱中症があった例はあるのでしょうか。

#### 【川邊副委員長】

安全性に対する事故等の件数、そういった事例はいかがですか。

**【事務局】**

施設の瑕疵があって起こった事故はないと思っています。熱中症につきましては、それぞれの施設を使ってイベントとか大会をやられた際に発生しているとは思いますが。それは主催者様で基本的に対応いただいている形で対処しているところです。

**【川邊副委員長】**

ということです。では野田委員、お願いいたします。

**【野田委員】**

この熱中症対策についてですが、日頃から小さなサークルで体育館、アリーナを使っている身からすると、夏とかにアリーナ半面とかをお借りしても、結局、冷暖房を入れるのは全面になってしまいます。半分、使っているところだけで冷房を入れることができない。全面入ると、空いていたり、そこを他のチームが使っているとかがあり、なかなか経済的には団体としては冷房を使うことができない状況にあります。暑いからということで、もちろんサークルに参加されない方はいらっしゃる。でも、いらっしゃる中でも「冷房を付けて」と言われるのですが、なかなかそこは一般利用者からすると難しい面があります。できれば、半分でもできれば良いと思います。

**【川邊副委員長】**

ありがとうございます。空調の必要性は高まっているということですよね。その点は37ページにも、空調等の機能向上について書かれています。そういった点でカバーしていけると思います。貴重なご意見だと思いますので、頑張ってくださいと思います。

その他、いかがでしょうか。委員長いかがでしょうか。

**【柳澤委員長】**

特に細かいところではないのですが、先ほど委員からも少しありましたけれど、評価が「良」か「劣」の「○・×」でやっていますので、ややその辺が不十分というか、評価として本当に深刻なのか、そうでもないけれど「×」になっているのかというのがあったりするので。その辺はとりあえず第1段階としては良いと思いますが、今後は改修などの優先順位をつけていくためにはもう少し「○・×」だけではなくてA B C Dのような形とか、少し点数化をしていくとかで、少し重み付けを変えていく必要があるのかなという気が、個人的にはしております。

あと図表27でも、城内弓道場は安全性、機能性が「良」で経済性も問題ないですけど、これは何で問題があると判断しているのでしょうか。その辺が分かりにくいところもあるかなと思いました。

あとは、さっきの利用率、利用者のところで、若い方が結構利用される場合とか、高齢の方がよく使う施設とかは、少しその世代間年齢別にもいろいろ傾向がありそうかなと思いました。その辺を事務局としては満遍なく色々な方に使っていただきたいということか、もう少し利用者がこれから伸びそうなところを強化していくのか。その辺の利用者のタイプとかに関連性があるのか、その辺の施策を考える必要があると思いました。

経済性のところは、基本的にはお金というのは利用者数、利用料だけではなくて、ランニング

コストとか、先ほど空調がかなり少人数であってもかかるというようなこともありました。省エネとか設備のコストとか、例えば屋外でやるものはほとんどお金がかかりません。夜に照明を付ければお金がかかるとは思いますけれども、室内は意外とランニングコストがかかっているパターンもあると思います。その辺からの経済性の確認は必要になるのかなと思いました。

あと収支のバランスで、基本的に収入は利用料の徴収だけだと思いますけれども、どうしても改修などをするのに政策経費みたいなものが乗る年はずいぶん赤字が増えているようなイメージになります。これだとずっと赤字が増えていくイメージになるので、そこは1回切り分けて、適切な収入を得ているのかどうかの判断を改修費用とかを抜いた形で評価するグラフはあって良いのかなと思いました。私からは、とりあえず以上です。

#### 【川邊副委員長】

ありがとうございます。4点だと思います。

まずは図表27について、城内弓道場も含めた弓道場の理由です。あとは「○・×」ではない評価方法について。あとは施設利用の対象者をどのように考えて施設タイプ別に振り分ける政策があるかどうか。あとは経済性に関するランニングコストを測るような手法がないか。そして20ページの図表の中にある、収支を政策的な経費を切り分けた図表があった方が良いのではないかと、いう4点だと思います。いかがでしょう。

#### 【事務局】

ありがとうございます。ご質問いただいたもののうちまず1つは、世代別の人数です。若い人中心なのか、それとも年配の方を中心に行くのか、その辺の考え方も含めた整理というお話です。基本方針が「誰もが気軽に安心して利用できる場の醸成」ということで基本方針を定めましたので、若い人でもお年寄りでも、もちろん中間的な方々であっても、誰でも使える施設を目指したいと思っています。

そのため今後も、今は年齢的な数値、利用者の人数を全て把握することができていない状況です。そういう情報を取っていないのでなかなか難しいのですが、今後はそういったことも意識しながら、もし大きな傾向みたいなものが掴めたときに、それにどう対応していくかを検討していきたいと思いました。

それから政策的な経費は、それだけが出ると突出してしまうので見せ方などの工夫のお話だと思います。グラフの中でも、ひょっとしたら表示の仕方を少し変えるだけでわかりやすくなるかなと思ったのが、今薄いベージュ色のものの次にオレンジ色が来ているのですが、その後、淡いピンクの後にピンク色となっています。経常経費の方が薄い色なので、順番を変えて表示して、政策的なものとは経常的なところに線を引いたりすれば、上の収入とのバランスがある程度より見やすくなるかもしれません。それがグラフ上でどう表現できるかは検討していきたいと思っています。

城内弓道場に関しては、こちらの指標でいくと、本来は長寿命化と整備方針の位置付けに該当します。冒頭、資料説明でもお話させてもらったのですが、城内弓道場が小田原城の史跡内に立地しておりまして、現在の建物を建てた時の国からの指示で、次建て替えるときには他所に建てなさいというのが条件で、今のところに整備された経緯がございます。

また市の主要施設の中でも1番若い施設なので、まだまだ本来使うべきところですけども、将来的な建替え再整備になると、現地では基本的には無理に近いところがあります。そういった

再整備を考えた場合、移転が必然的に出てくる問題です。とりあえず使えるまでは改修しながら使っていこうということで、ここだけは機能改修と整理をさせていただきました。

あと経済性のところですが。ランニングコストも含めた考え方につきましては、再度こちらでも考え直していきたいと思っております。以上です。

#### 【柳澤委員長】

ありがとうございます。年齢別とか世代別のニーズみたいなというのは、例えば今回、新たにスケボーとかパークゴルフを整備していくようなときに、「私はそんなものは使わないから、なんでそんなものを整備するんだ」みたいな話が無きにしもあらずだと思います。その辺のエビデンスを考えると、今回パークゴルフは比較的年配の方が利用して、スケボーは若い方が利用するか、世代間のバランスを見て両方のニーズにマッチさせたみたいなこともあると思います。

おそらく今後、そのあたりで「誰でも利用できる」というのは、誰でも平等に利用できる施設を重点的に整備した方が良いという話も出るかもしれませんし、小田原市としての方向というか、「こういう理由で、こういうエビデンスがあるから、こういう施設を優先的に整備していく」という説得力をより増すには、そういった証拠を示していく必要があるのかなと思いました。以上、感想としての意見になります。

#### 【川邊副委員長】

ありがとうございます。その他、ございますか。では、およそ1時間弱経ちましたので、ご意見は一巡したということにします。

この後は、今回が最終回ですので、それぞれ委員の方から一言ずつご意見やご感想をいただければと思っております。よろしいですか。では、宮内委員から席順でいきたいと思っております。

#### 【宮内委員】

長い時間、どうもありがとうございました。色々私も言いたいことを言わせていただきました。最後と言われたけれど、県西地区でここに43ページにいろんな他の地域のスポーツ施設があるので、小田原市が音頭を取って県西地域のスポーツ施設を取りまとめるみたいなプロジェクトを立ち上げて良いのかなと。スポーツ課の人が余計に大変になるかもしれないけれど、でもそのぐらいのことをやって、競技の切り分けなんかを小田原市が優先してやると、小田原市に転入してくれる人が増えるのではないかと思います。その辺を頑張ってやっていただければありがたいです。以上です。ありがとうございました。

#### 【片山委員】

第1回から出席しているのですが、自分としては陸上競技をやっていたもので、城山陸上競技場、それから老人クラブでは酒匂川スポーツ広場を利用していました。その施設を使ったところで、城山陸上競技場はスタンドの椅子はガタガタしているとか、そういう自分の目で見てわかるのですが、例えばプール、テニス場、弓道場は私は見ていないので、例えば最初の始まるときにその施設を利用している人が、「弓道場はこういう状態だよ」「プールはこういう状態だよ」というのを市の人も見てこれを発表するのですが、実際に使った人に意見を最初に聞いた方が良かったのかなと思いました。

#### 【曾我委員】

ありがとうございます。私は第4回から、PTA から参加をさせていただきました。市のスポーツ施設が充実することは、子供たちが安心して、より充実した施設で活動できるというのは大変良いことだと思います。ただ施設とかですと、やはり使っていくうちに劣化とか修繕が必要になってきますので、お金がたくさんかかります。その財源確保は大変重要な課題かなと思いました。50ページに書かれてある施設使用料の見直しとか駐車場の有料化とかは、必要なことなのでぜひやっていただきたいという感想を持ちました。またネーミングライツの導入とかも、難しい部分もあるのかもしれませんが、ぜひ実現していただければなと思いました。以上です。

#### 【安藤委員】

私も曾我委員と一緒に、第4回からこちらに出席させていただきました。御幸の浜プールができたときから使わせていただき、水泳協会で水泳の大会にも自分が参加して、役員もやって、競技も競技役員としてやってきました。そういう経緯もあって、ぜひプールを体験してほしい気持ちはあったのですが、今の御幸の浜プールを修理するとか、もう一度使えるようにするのは難しいと思うので。跡地のことは何も触れられていなかったですけど、以前そこを埋めてスケートボード場にしようとかいう話も出ていたことも伺ったことがあります。

今回、上府中公園にスケートボード場の整備という話が出ていましたので、やはり御幸の浜の海の方に行かれる方の駐車場もないですし、上手い具合にあそこを活用していただけたら良いなと。本来はプールをやっていたきたいですが、それが無理だと思うので、そういった形でやっていただけたらと思います。ありがとうございました。

#### 【菊委員】

私は1番最初から出席させていただいたのですが、良い意見が言えたのか不安なところではありますが、どうしても私は母目線でお話しさせていただくことが多かったと思います。気候の変化もいろいろありまして、先ほど熱中症の話になりましたが、やはり試合や大会に出ますと、チームを見ても2人ずつぐらいは熱中症で母とか父が扇いでいたり、車の中に入れたりする状況をよく見ることがあります。酒匂川スポーツ広場では救急車が来たこともありました。

施設を変えていくこともこれから少しずつ進めていかないといけないところですが、小さなところも、変な話、酒匂川スポーツ広場も冷房が効いている施設を作っていただいて、そこで選手が寝ていられる環境を作っていただく。小さなことから少しずつ、これから進めていただければ良いと思います。ありがとうございました。

#### 【木村委員】

小田原市の施設の実情として、どの施設にも経年劣化の問題が多かった中で、古い施設が経年劣化になってしまっていたので、この新しいサイクルでまた施設が良くなって行って、ツーデーマーチの話もありましたし、そういうスポーツの良い話題で小田原市が話題になってくれれば良いなと一市民として本当に思っています。このような貴重な会議に参加させていただいたことに本当に感謝しています。非常に勉強になることばかりで、これからは生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

**【野田委員】**

まずこの委員会に入らせていただいて、小田原市民ではあるのですが、このような施設に行ったことがない、どこにあるのだろうというところがありました。それを巡ってみたりして、良い勉強になりました。

体育館色々これから整備されますけれども、使う身からして、やはり来たときよりも綺麗にしてお返ししないといけないと思います。また、物を大切にしながらプレーしていきたいというのが実感です。

これはお願いですけれども、これからいろいろところで整備が入ってくると思います。今も学校施設では照明器具を直しています。照明だけの修理で2～3ヶ月かかってしまっています。では、床面のラインはどうなのか。またそれをやるのに1ヶ月くらい使用できない状況になります。できればこの大きな公共施設の中で、できるものはまとめて実施していただければ、市民が運動できる場所が長期間クローズされないよう、短時間でできるように実施していただければ助かるなと思います。以上です。

**【川邊副委員長】**

オブザーバーからも一言、よろしくお願いいたします。

**【重田オブザーバー】**

県の機関からオブザーバーとして参加させていただきました。今年度からの参加でございましたので、勉強させていただきながらいかせていただきました。そうした中で、やはり高度経済成長期以降に作ってきた施設が、どこもちょうど更新時期に入って、それを更新しないとイケない中で、一方で限られた予算の中で更新するということでは、何かしらの優先順位を付けないとイケないということで、やはりそこは悩ましいなと改めて思ったところです。

またどういう施設を提供するのかというところについても、儲かる施設であれば、民間がやれば良いと思います。なかなか経済性も考えないとイケないところも悩ましいなど。みんながやるようなものを提供する観点もあるし、みんながやらないスポーツだからこそ行政が提供するところもなければイケないと思います。常にやるようなところだけではなくて、政策的な誘導もあって新しいスポーツを提案していくこともあると思います。それを色々考えさせられたところでございます。大変勉強になりました。ありがとうございました。

**【川邊副委員長】**

ありがとうございました。それでは私と委員長から一言ずつ、最後に言おうと思います。

まず私からです。今回、皆様方にもありまして素晴らしい計画ができたと思います。最後、少し手直しが入ると思いますが、素晴らしい計画になったと思います。今後、この計画が動いていくこととなります。そのフォローアップ等がやはり重要だと思います。この計画の中でも、60ページにフォローアップについて書かれております。また5年後に見直しを行うということもありますし、この進捗が様々な議会とか審議会で報告されるということです。ぜひ皆様、私も含めてそういったフォローアップをチェックできたらと思います。事務局の皆さんには、ぜひそういったものがどうしても市議会やなかなか表に見えてこないところがありますので、何かわかりやすい進捗報告みたいなものがホームページとかで見られると良いと思います。この計画が進み

まして、小田原市のスポーツ環境が非常に良くなることを期待しております。私からは以上でございます。委員長、いかがでしょうか。

**【柳澤委員長】**

皆さんお疲れ様でした。副委員長、最後の大事な会議をお任せしてしまって申し訳ないです。私は小田原市民ではないので、実際に小田原市のスポーツ施設を使った経験がありません。皆さんの実際の利用者目線のご意見を勘案しながら、少しこちらでも他市でスポーツ施設を利用した経験などから、いろいろ議論に参加させていただきました。こういう形で地元の声とか利用者の声を聞きながら整備計画に反映していくことは、非常に重要で大事なことだと思います。

一方、小田原市さんだけではないと思いますが、非常に財政難の中で優先順位を決めていかなければいけないというところで、おそらく市民皆さんが納得する方向性はなかなか出しにくい気がしています。実際にスポーツをほとんどしない人もいますし、よく利用する人もいますので、なかなかその辺が税金を払っている立場から公平なジャッジをするのは難しい部分があると感じています。

あとは、スポーツの裾野を広げていくのか、一般市民がより利用できるようにする方向なのか、ある程度専門的なスポーツ、プロとまで言わなくてもそういったスポーツ育成という視点なのかによっても、やはり整備の仕方は変わってくると思います。どちらを重視するのか、両方重視するのか、なかなかその辺は判断が難しい部分があると思います。やはり市民になるべくスポーツ、健康増進を進めていくということは、当然医療費の削減とかにも繋がってくると思います。なるべくみんながスポーツに参加する、健康増進になるような考え方が重要だと個人的には思っております。

私は今、小田原市の学校施設にも関わっております。おそらく学校でも、体育施設、体育館やグラウンドなどがあります。今後は少し、学校と施設がどう連携していくかも視点としては要るような気はしております。皆さんお疲れ様でした。

**【川邊副委員長】**

皆様ありがとうございました。議事については以上となります。

次第3、その他として事務局から何かございますでしょうか。

**【小澤部長（事務局）】**

本日も多くの議論いただきまして、本当にありがとうございました。それから途中交代の方もいらっしゃいましたけれど、2年間に渡りましてこの会に参画いただきまして本当にありがとうございました。これは私の感想としまして、この計画作りをするにあたって、この検討委員会の委員の皆様もちろんですが、スポーツ団体の方々、競技をされている様々な競技団体の方々ともいろいろ触れ合って、いろいろなお話を、結構お叱りいただいたりとか、色々な注文が多かったですけれども、ただそれも我々としては貴重な意見だと思っています。そういったものを全て反映させたのが、基本的に今の形になっています。今日もいろいろご意見をいただきましたので、それらも反映させて最終報告という形で準備を進めてまいります。これは我々の方でやらせていただければと思っています。

本市のスポーツ施設は、本当に長いものでは70年選手もいらっしゃいます。それから比較的新

しいアリーナでさえも30年が経過しようとしています。どの施設も何らかの課題を抱えて運用しています。その中で既存施設については、やはり今回の計画の中にもありましたけれども、日々のメンテナンスを怠らずに、利用者が安心して利用できるように、そしてこれからのスポーツ施設に求められる機能を装備できたら良いなと思っています。それに努力していきたいと思います。

それから新規施設については、今回の計画の中でパークゴルフとスケートボードを位置付けさせていただきました。これらについても一日も早く実現できるように、今後は関係機関や周辺住民の方々との調整を重ねながら、さらには予算も大変厳しい状況ですが、その中でも民間の活力も十分に活用させていただきながら、良い施設を作ればと思っています。

会議については本日で終了となりますけれども、今後もし計画書に、今日も若干修正がありましたけれども、そういった修正があった場合については、委員長と副委員長と我々で調整させていただきたいと思います。

また今後のスケジュールについてです。1月の初旬にスポーツ推進審議会という審議会を持っていますので、そちらに1回諮ります。その後、1月末に小田原市議会の厚生文教常任委員会に報告をいたします。その後、2月の時点でパブリックコメントというものを行いまして、それを経て市の内部で決裁を取って、最終的に年度末に諮問で始まっていますので市長に答申をして、公表となります。まだまだ手続き的にはあるのですが、皆さんで作っていただいた計画書をベースに、今ご説明した通りに進めて公表できればと思っています。皆様のおかげでこの準備が全て整いました。本当にありがとうございました。

なお、今回最後になりますけれどもアンケートをまた用意させていただいています。この会議で伝えられなかったこと、気づいたことなどがありましたら記入いただいて、メール等でも構いませんのでご提出いただければと思います。私からは以上です。

#### 【川邊副委員長】

ただいま事務局から計画書が公表されるまでの手続き等もご説明がありました。その点についてはご質問ありませんか。よろしいでしょうか。では、以上をもちまして予定しておりました内容は全て終了いたしました。進行を司会に戻させていただきます。活発な議事の進行にご協力いただき、ありがとうございました。

#### 【司会】

ありがとうございました。皆様、長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。

これをもちまして、小田原市スポーツ施設整備基本計画策定検討委員会第6回会議を閉会いたします。小田原市スポーツ施設整備基本計画策定委員会として予定していた会議は、今回で終了となります。令和5年の7月の第1回会議から、これまで皆様どうもありがとうございました。

以上